

富士冷熱工業(株) サイトレポート情報	
所在地	静岡県富士市横割4丁目12番28号
敷地面積	3,030m ² 、建家面積：1,789m ² 、緑化率(工場立地法の特定工場に非該当)
設立	1970年4月、従業員：30人(2011年3月現在)
主要製品	空調・冷凍装置用コンプレッサ、空調機用タンク
ISO14001認証取得	2009年2月、最新更新年月：2011年1月 (ISO認証番号：EC08J0131)



ごあいさつ

富士冷熱工業(株)は新幹線・新富士駅の約1km北に位置し、富士山の麓、美しい自然の中で事業活動を展開しています。工場では空調・冷凍装置用のレシプロ／スクロールコンプレッサをはじめ、空調機用のタンク等を製造しており、一昨年のISO認証取得を契機に、全従業員が環境活動の趣旨を十分理解し、自覚をもって環境保全活動に取り組んでいます。



環境保全責任者 佐藤友彦

2010年度の環境の主な取組み

- ☆ISO14001環境マネジメントシステム
 - ・2年次サーベイランス審査の実施(2011/1月)……総合評価『向上』
- ☆環境保全体制の整備
 - ・社内監査：サイト環境監査(実査)の実施(2010/12月)……総合評価『B』
 - ・管理体制のレベルアップ：前年度の監査指摘事項の改善実行……対計画 93%完了
 - ・法令、条例の順守：報告関係(廃棄物、氏名等変更、等)、定期検査(浄化槽、換気装置、環境測定、健康診断、等)
- ☆エネルギー起源CO2排出量の削減
 - ・CO2(エネルギー)生産高原単位：対目標2.7%改善、
管理の徹底(照明・空調)、残業時間の空気圧縮機使用台数削減
- ☆廃棄物総発生量の削減とゼロエミッションへの取組み
 - ・廃棄物総発生量 生産高原単位：対目標2.2%改善、発生量：対目標1.7%改善
 - ・ゼロエミッション：対目標9.8%改善……0.06%
容器・運搬資材のリサイクル化、分別の徹底による再資源化促進
- ☆全員参加・啓発活動の展開
 - 環境月間・3R推進月間・省エネ月間による環境啓発活動、ニュース、教育等。

製品・環境技術開発、環境配慮ポイントの紹介

当社の主要製品コンプレッサ・タンクの塗装、焼付工程では、第二種有機溶剤を使用している。安衛法有機則に準じ、困い式局所排気装置、及び製品の待機場所にプッシュプル型換気装置を設置、毎年、定期自主検査を行いながら、職場環境の改善を図っている。



環境コミュニケーションの紹介

- ・環境報告書：2006年度より東芝キャリアグループに参画。2008年度以降、記事に参加。
- ・環境整備活動：工場入口周辺の清掃(毎日)、周辺道路の草取り・清掃作業(毎週)

富士冷熱工業 環境方針

< 基本理念 >

富士冷熱工業株式会社は、地球環境の保全が人類共通の重要課題の一つであることを認識し、「自然環境の保全につとめ、環境に配慮した、より良い企業活動を行う」ことを基本理念とする。

< 環境方針 >

当社は、空調・冷凍装置用圧縮機、空調用タンク、を製造していることを踏まえ、以下のように環境活動を推進する。

1. 当社の活動、製品、サービスにかかわる環境側面を常に認識し、環境汚染の防止につとめる。
2. 環境方針、目的・目標を定め、その実現を図り、定期的な見直しを行うと共に、環境マネジメントシステムの継続的改善を推進する。
3. 当社の活動、製品、サービスの環境側面にかかわる法規、及び当社が同意するその他の要求事項を順守する。
4. 当社の活動、製品、サービスにかかわる著しい環境側面のうち、以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組む。
 - (1) 消費エネルギー使用量(CO₂排出量)の削減
 - (2) 廃棄物発生量の削減
 - (3) 生産過程で使用する化学物質の削減及び有効活用
5. この環境基本方針達成のため、全従業員をあげて環境管理を推進する。また、この環境基本方針は、組織で働く、又は組織のために働く全ての人に周知徹底すると共に、広く一般に開示する。

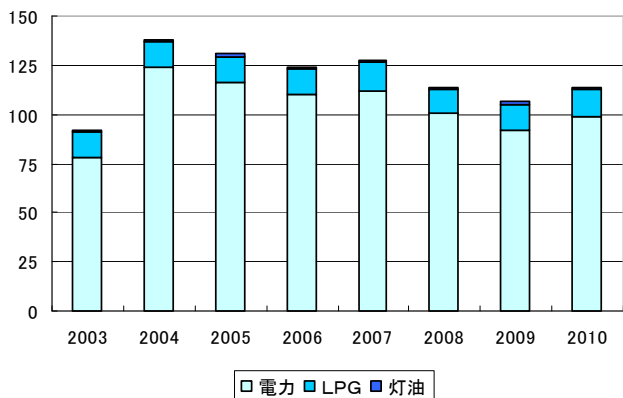
2010年6月1日
富士冷熱工業株式会社
代表取締役社長

佐藤 友彦

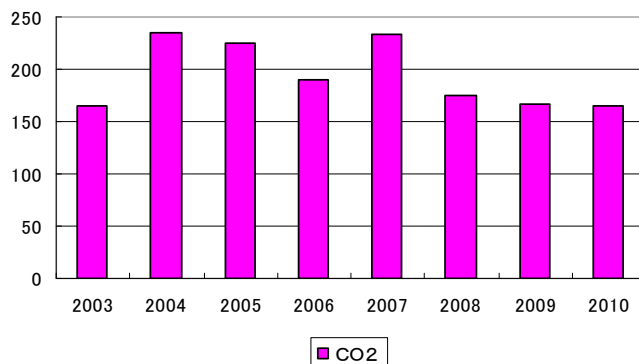
『環境マテリアリティ』 P7/37 抜粋

環境負荷データ

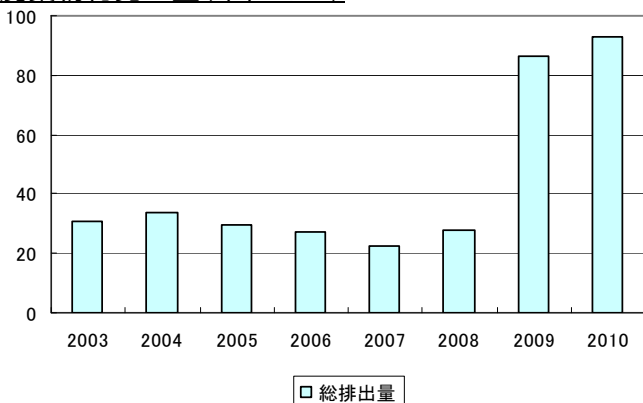
エネルギー使用量(単位:KL)



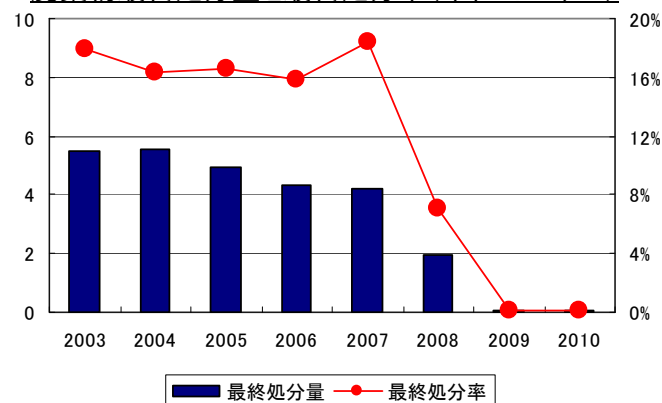
CO₂排出量(単位:トン-CO₂)



廃棄物総発生量(単位:トン)

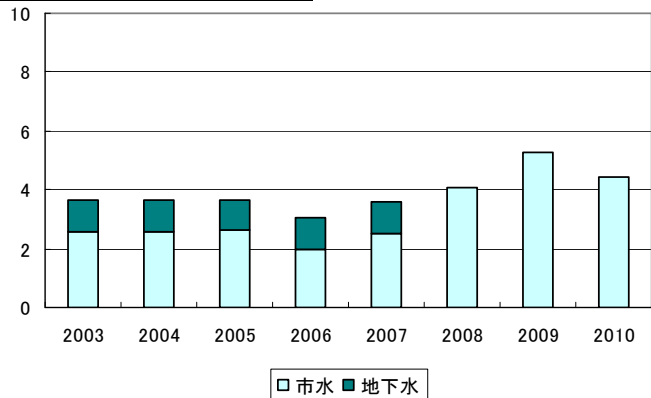


廃棄物最終処分量と最終処分率(単位:トン、%)

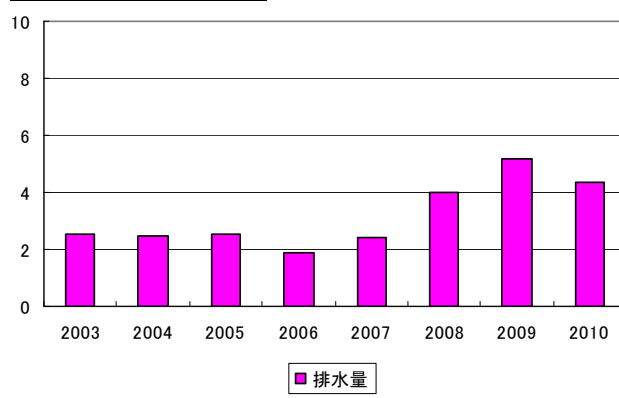


主な廃物名: 金属、金属くず、廃プラスチック、木くず、廃油、等

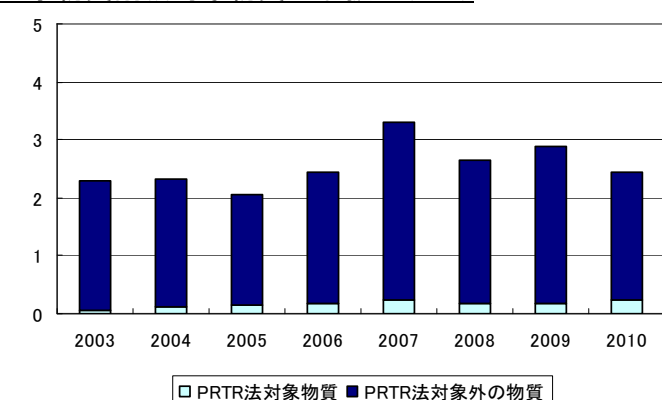
水の使用量(単位:千m³)



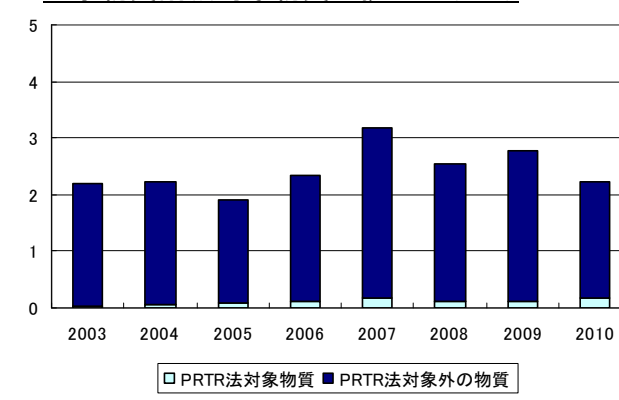
排水量(単位:千m³)



化学物質削減対象物質の取扱量(トン)



化学物質削減対象物質の排出量(トン)



主な化学物質: エチレングリコールモノメチルエーテル、トリエチルアミン、プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート、メタノール

遵法管理状況

<大気測定結果> ボイラーの保有なし。

	法規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
NOx(ppm)	対象外	対象外	対象外	対象外
SOx(Nm3/h)	対象外	対象外	対象外	対象外
ばいじん(mg/Nm3)	対象外	対象外	対象外	対象外

<排水測定結果> 金属表面処理施設の廃水は全量業者処理委託、河川への放流は一般水のみ

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	対象外	対象外	対象外	対象外
BOD(mg/ℓ)	対象外	対象外	対象外	対象外
COD(mg/ℓ)	対象外	対象外	対象外	対象外
SS(mg/ℓ)	対象外	対象外	対象外	対象外
窒素(mg/ℓ)	対象外	対象外	対象外	対象外
フッ素(mg/ℓ)	対象外	対象外	対象外	対象外

<騒音・振動測定結果> 特定施設 [騒音 5施設(空気圧縮機 3、液圧プレス 2)]、振動 騒音と同様
* 測定日: 2010-10-6、10-16

	測定場所: 時間	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
騒音(dB)	敷地境界: 昼	70(北側)	70	68	1回/年
	敷地境界: 夜	対象外(夜勤なし)	←	←	←
振動(dB)	敷地境界: 昼	70(北側)	70	43	1回/年
	敷地境界: 夜	対象外(夜勤なし)	←	←	←

<その他測定結果> 浄化槽法定検査 * 測定日: 2010-4-19

	規制値("良"の範囲)	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	5.8~8.6	5.8~8.6	東:6.8/西:7.6	年1回(点検:年3回)
溶存酸素量(mg/ℓ)	0.3以上	0.3以上	東:8.0/西:7.4	年1回
透視度(度)	7以上	7以上	東:22/西:14	年1回(点検:年3回)

<環境事故・指導指摘・苦情の有無>

	状況
環境事故発生の有無	なし
工場周辺や地域での環境問題発生の有無	なし
行政からの指導・指摘の有無	なし
近隣住民からの苦情の有無	なし